

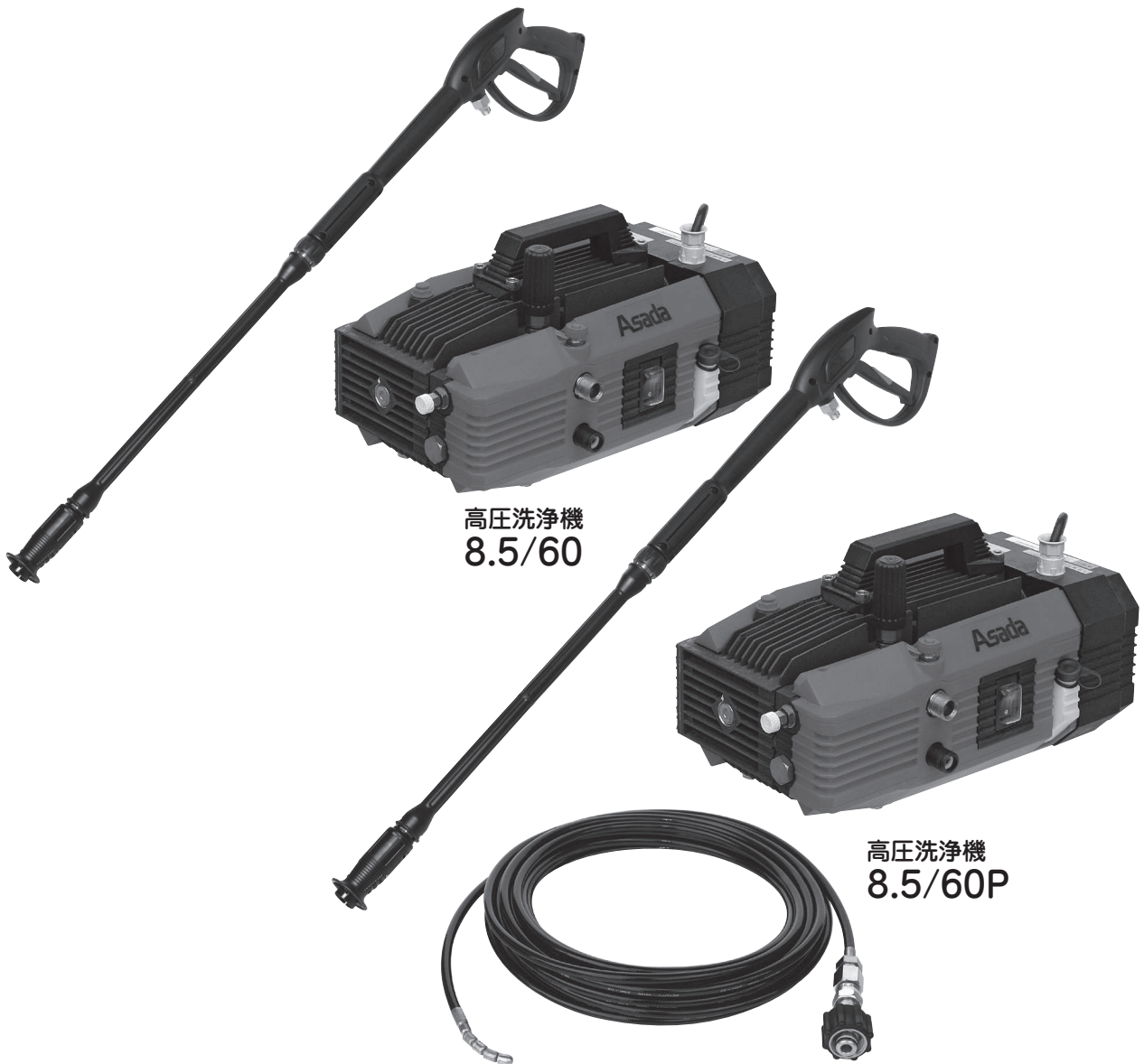
Asada

環境を守る親切ツール

高压洗浄機

8.5/60・8.5/60P

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

安全にご使用いただくために

このたびは、高圧洗浄機8.5/60をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡してください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

- 本製品は、清水による一般洗浄作業に使用するために製作された高圧洗浄機です。ガンや洗管ホースは、必ず標準付属品または当社が設定した別販売品をお使いいただきますようお願いいたします。設定外のガン、洗管ホースは使用することができません。
装置等に組み込んで無人で使用することができません。
この使用目的の範囲を逸脱しての使用が原因での事故および弊社の許可なく改造および分解を行い、それに伴って生じた事故に関しては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・輸送中の事故等で破損、変形はしていないか。
 - ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性が高い危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号



高圧洗浄機 8.5/60

目次

安全にご使用いただくために	1
警告表示の分類	1
記号	1
安全上のご注意	3
1.製品の構成	5
1) 各部の名称	5
2) 仕様	6
3) 標準付属品	6
4) 別販売品	7
2.使用方法	8
1) 使用環境	8
1-1) 電源の確認	8
1-2) 水源の準備	8
1-3) トリガーガン・高圧ホースの 接続	9
1-4) 吸水ホースの交換	9
1-5) オイルゲージ付きキャップの 取り付け	10
1-6) 洗浄機の設置	10
2) 運転・使用方法	11
2-1) 始動方法	11
2-2) 洗浄作業	13
2-3) 洗剤（薬品）の自動混入方法	14
2-4) 圧力調整方法	14
2-5) 洗管ホースの使用法	15
3.作業の終了方法	16
1) 作業の終了および水抜き方法	16
4. 保守・点検	17
1) ストレーナの点検作業	17
2) ノズルの清掃作業	17
3) その他の点検作業	17
4) ポンプオイルの交換	18
5.修理を依頼される前に	19

安全上のご注意

□ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい、一般的な注意事項を示します。
□作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載します。

⚠危険

分解禁止



- ◆絶対に本機の分解・修理・改造はしないでください。
- ◆人や動物に噴射口を絶対に向けないでください。
☆けがををする恐れがあります。

⚠警告

爆発



- ◆可燃性の液体（ガソリン・シンナー等）やガスのある場所で使用しないでください。

☆スイッチの開閉時や使用中に火花を発生します。

感電



- ◆必ず接地（アース）をしてください。
- ◆本機自身を水洗いしないでください。
- ◆本機に水がかからないようにしてください。
- ◆ゴム靴等を履き、濡れないようにしてください。
- ◆作業時は、ゴーグル等保護メガネを着用してください。

☆噴射水が、砂や泥などと一緒にはね返ってくる場合があります。

保護具



- ◆使用後、部品の交換・掃除・点検時は、必ずスイッチを切ってください。
さらに、プラグを電源コンセントから抜いてください。

発火



- ◆必ず、機銘板に記載されています周波数で使用してください。
☆モータの異常過熱によって、発火する恐れがあります。
- ◆コードをつかんで本機を運ばないでください。また、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナー等の有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤のほか、劇物・毒物等は絶対に使用しないでください。

☆特殊な薬剤（薬品）などを使用する場合には、必ず販売店または弊社に問い合わせのうえ、安全を確認してから使用してください。思わぬ事故を招く原因となります。

毒物



- ◆冬季など0℃以下になる場所では、必ず水抜きを行ってください。
(P16 「作業の終了および水抜き方法」を参照。)
また、0℃以上の屋内に保管するようにしてください。
☆凍結しポンプが損傷する恐れがあります。



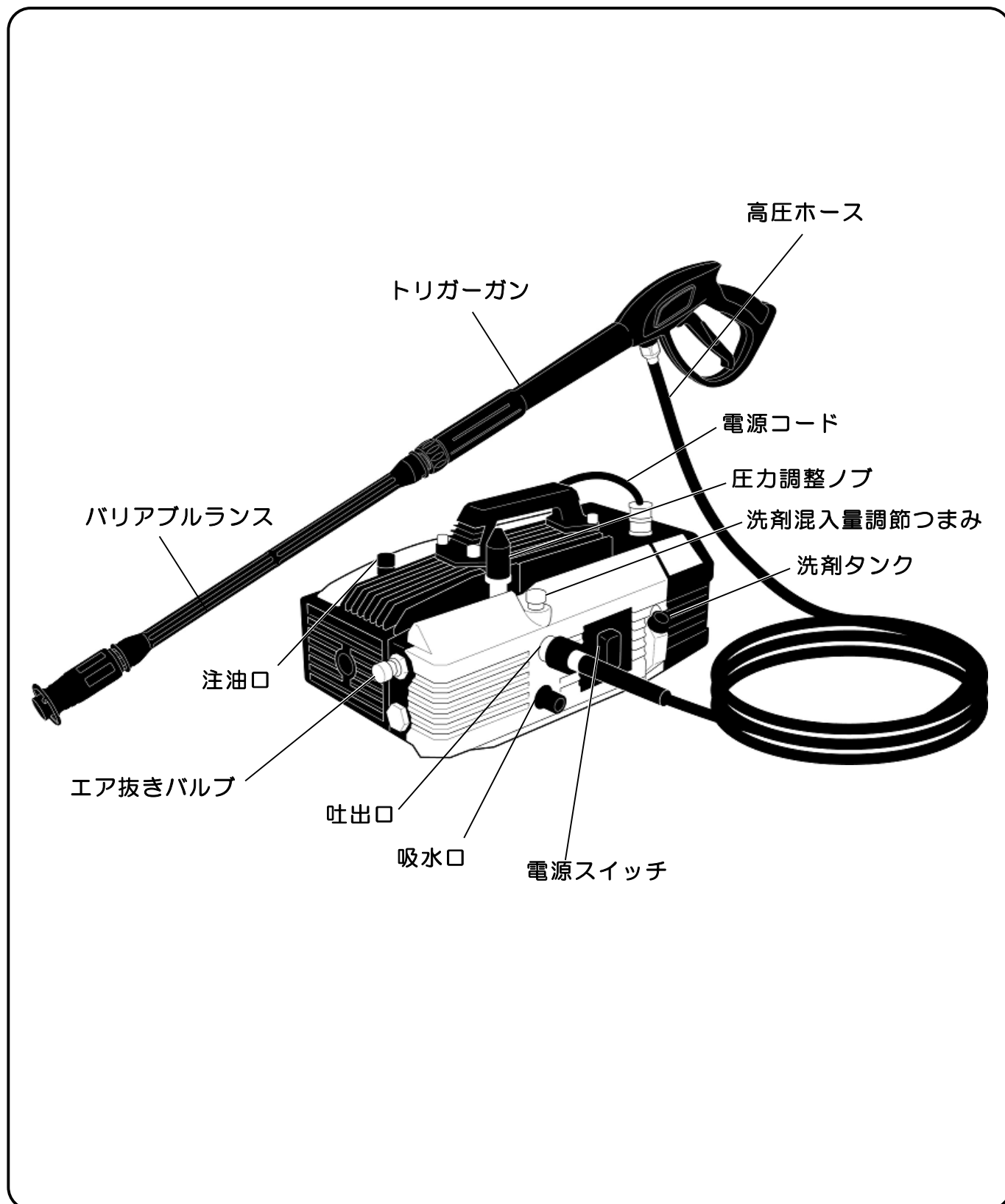
その他



- ◆泥水等は使用しないで、必ず清水を使用してください。
☆異物がストレーナを詰まらせたり、ポンプ内に異物が混入しポンプを損傷する恐れがあります。
- ◆延長コードは使用しないでください。
☆やむを得ず使用する場合は、線径2mm²で10m以下、もしくは線径3.5mm²で30m以下の物を使用してください。
- ◆機具の手入れは安全でよい作業ができるだけでなく、寿命アップにつながります。(P17 「保守・点検」を参照。)
- ◆作業場所は常に整理・整頓に心掛けてください。
- ◆関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には、十分注意し、絶対に触れさせないでください。
- ◆不安定な場所や、無理な姿勢での作業はしないでください。
☆足場をかため、身体の安定を保ってください。
- ◆圧力の調整は、必ず所定の範囲で行うようにしてください。
☆上げ過ぎや下げ過ぎは故障の原因となります。
- ◆作業前には必ずバリアブルガン、高圧ホース、洗管ホースなど各付属品を点検してください。
☆付属品に損傷があった場合、高圧水が噴射し危険です。
- ◆本機は、温度の高い場所や雨中での使用や保管は行わないでください。
やむを得ず使用する場合には、直接本機に水がかからないようにしてください。
- ◆使用后、部品の交換・掃除・点検時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- ◆本機や他の電動機器に噴射しないでください。
☆ショートしたり機器が破損する恐れがあります。
- ◆トリガーを引いたまま針金などで固定しないでください。
☆不意にスイッチが入ると同時にバリアブルガンが飛び跳ねて危険です。
- ◆ノズルからの噴射を停止するとアンローダバルブが作動してポンプ内の水が循環します。噴射を停止した状態で5分以上は絶対に運転しないでください。
☆ポンプ内で循環された水の温度が上昇し、パッキン・シール等を破損する恐れがあります。
- ◆ストレーナは必ず吸水ホースに付けて使用してください。
☆砂など異物がポンプ内に侵入してポンプ破損・ノズルの詰まりなどを起こします。
- ◆運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、1分間に5滴程度までの水漏れは故障ではありません。
☆それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店または、弊社へ連絡してください。

1.製品の構成

1) 各部の名称



高圧洗浄機 8.5/60

2) 仕様

品名		高圧洗浄機 8.5/60 / 高圧洗浄機 8.5/60P	
コードNo.		HD8506 / HD8506P	
周波数		50Hz	60Hz
モータ	形式	コンデンサモータ	
	定格電圧 (周波数)	単相100V (50/60Hz 共用)	
	始動電流	52A	
	定格消費電力	1.2kW	1.4kW
ポンプ	形式	クランク式三連プランジャポンプ	
	回転速度	1,420min ⁻¹	1,750min ⁻¹
	吐出量	7L/min (※2)	8.5L/min (※2)
	圧力	5~6MPa	
	最大吸込揚程	2m	
	許容給水温度	0~40℃	
	オイル	種類	4サイクルエンジンオイル SAE30番, 10W-30
容量		350cc	
洗剤タンク	使用洗剤	中性洗剤	
	容量	600cc	
給水方式		自吸式・水道直結式 (※3)	
本体質量		19.5kg	
外径寸法		L420×W240×H225mm	

※1：仕様は、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※2：表記されています水量は低圧で使用した場合の水量です。

※3：水道直結式で使用される場合は、別販売品 「HD013 水道直結ホース」をご使用ください。

3) 標準付属品

コードNo.	品名
HD00165	トリガーガン 8.5/60
HD00166	バリアブルランス 8.5/60
HD00003	高圧ホース 1/4" ×9.5m
HD00004	吸水ホース
HD00135	クイックカプジョイント (8.5/60Pのみ)
R10601	洗管ホース1/4" ×10m (8.5/60Pのみ)
HD00005	オイルゲージ棒
—	取扱説明書
HD108	ノズル掃除棒

HIGHPRESSURE CLEANER 8.5/60

4) 別販売品

コードNo.	品名
R10101	ハンドガン
R10400	回転ブラシランス
R10500	ターボランス
R10601	洗管ホース1/4" ×10m
R10608	洗管ホース1/4" ×20m
R10609	SUS洗管ホース1/4" ×10m
R10610	SUS洗管ホース1/4" ×20m
HD00136	PU洗管ホース1/4" ×10m
HD00137	PU洗管ホース1/4" ×20m
HD00138	PS洗管ホース1/4" ×10m
HD00139	PS洗管ホース1/4" ×20m
R10602	高圧ホース10m (※1) (※2)
R10603	高圧ホース20m (※1) (※2)
R10604	高圧ホース30m (※1) (※2)
HD013	水道直結ホース5m

※1 洗剤混入が可能なホースの長さは最大で8mです。

※2 直接接続不可。延長専用となります。

2.使用方法

1) 使用環境

1-1) 電源の確認

- 電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規則 第333条および電気設備の技術基準 第28条、第41条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。（接地線の太さは、1.6mm以上必要です。）
- 電源に過負荷保護装置が設置されていることを確認してください。

注意

その他



- ◆感電防止のため、必ず接地（アース）を行ってください。
- ◆接地工事（地中に接地極アース板、アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行うためには、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

1-2) 水源の準備

注意

その他



- ◆自吸式で使用する場合は、本機の側に水槽またはタンクを置き、水道栓からホースで水道水を供給し、水源を準備してください。
水源が本機よりも下にある場合は、本機と水面が2m以上にならないようにしてください。
☆本機より水面が2m以上離れますと吸水しなくなります。
- ◆水道直結式で使用する場合は、必ず毎分9リットル以上供給可能な水源を使用してください。
☆給水量が不足しますと能力がでないだけでなく、本機を破損する恐れがあります。
- ◆水温は0～40℃以内で使用してください。
☆水温が低すぎたり高すぎたりしますと、ポンプ内部を破損する恐れがあります。
- ◆水道直結式で使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規制を受ける場合があります。詳細については所轄の自治体にお尋ねください。
- ◆泥水等は使用しないで、必ず清水を使用するようにしてください。
☆異物がストレーナを詰まらせたり、ポンプ内に異物が混入しポンプを破損する恐れがあります。

1-3) トリガーガン・高圧ホースの接続

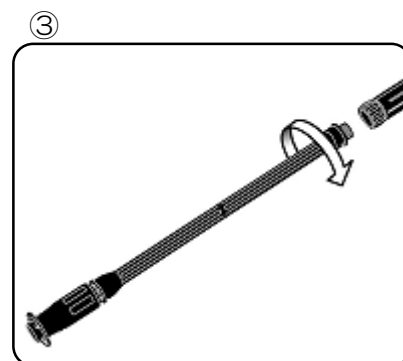
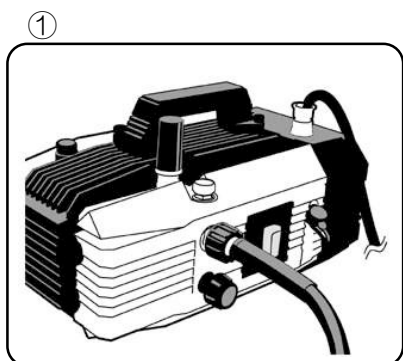
注意

その他



◆各部の接続は確実に行い、Oリングやバックアップリングが欠損している場合は、その部分より高圧水が噴出する恐れがありますので、直ちに交換してください。

- ①高圧ホースの本体側（黒いプラスチック側）を本体に、ねじ込んで接続します。
- ②高圧ホースのトリガーガン側をトリガーガンの根元側にスパナ（17mm）で締め込みます。
- ③トリガーガン先端部にバリアブルランスをねじ込んで接続します。



1-4) 吸水ホースの接続

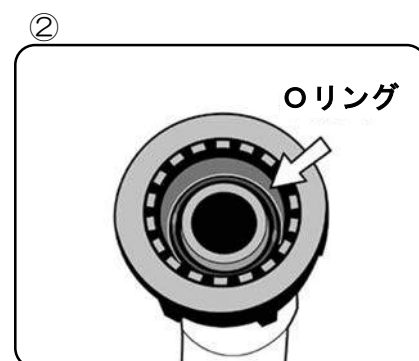
注意

その他



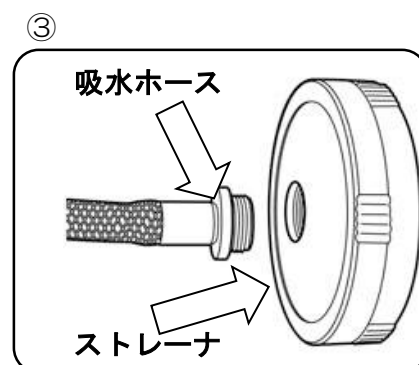
◆金具の接続は完全か、ストレーナの目詰まりや破れ、ホースの折れや破損がないか確認してください。
◆吸水口と水道栓を直接ホースで接続する場合は、別販売品「HD013 水道直結ホース5m」を使用してください。

- ①本体吸水口とラインストレーナに異物が混入していないことを確認してください。
- ②吸水ホースの本体接続側にOリングがはめ込まれていることと吸水ストレーナに異物が混入されていないことを確認してください。

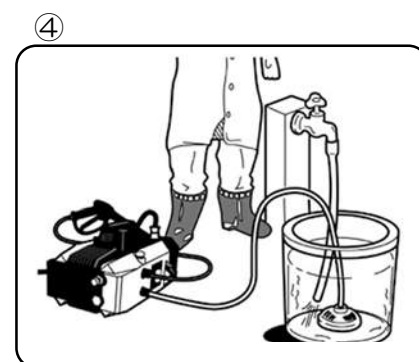


高圧洗浄機 8.5/60

③吸水ホースとストレーナを取り付けます。



④吸水ホースを本体に接続し、ストレーナを水源に沈めます。

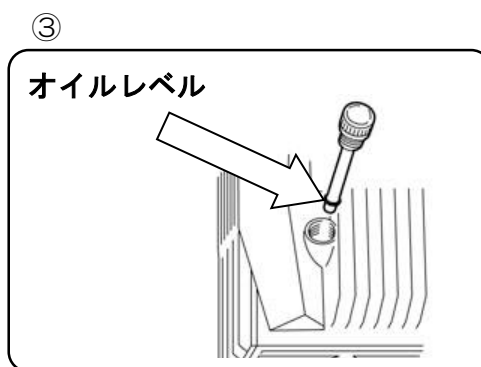
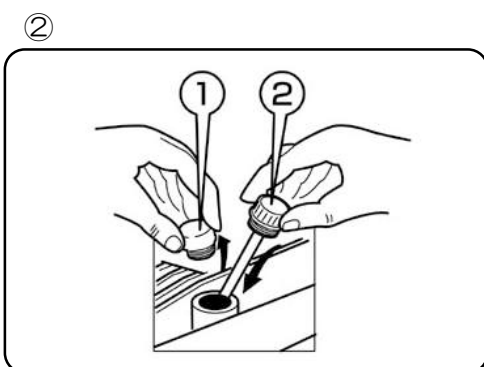


1-5) オイルゲージ付きキャップの取り付け

①ポンプのオイルは工場出荷時に充填されています。

②輸送用の赤色のキャップ(1)を外して、付属の黒色のオイルゲージ付きキャップ(2)と交換してください。

③ポンプオイルの量はオイルゲージ下部のオイルレベルを参考に確認してください。



1-6) 洗浄機の設置

□運転中にポンプ内部が正しく潤滑されるように、水平な平面に設置してください。

2) 運転・使用方法

2-1) 始動方法

A) エア抜き方法

⚠ 注意

感電



- ◆濡れた手で電源スイッチに触らないでください。
☆感電する恐れがあります。
- ◆電源プラグを差し込むときは、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
☆電源スイッチがONの状態では電源に差し込むと、本機が急に動き事故の原因になります。

- ①洗浄機本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認して、電源プラグを電源に差し込みます。
- ②エア抜きバルブを図の矢印方向に回し開きます。

②



⚠ 注意

その他



- ◆エア抜きバルブを開く際、バルブの吐出口から水が噴射されますので、周りには十分注意してください。
- ◆作業時は必ずエア抜きバルブは閉じてください。
☆エア抜きバルブが開いていますと圧力が上昇しません。

- ③電源スイッチをONにします。
- ④エア抜きバルブから水が安定して吐出するようになりましたら、エア抜きバルブを閉めます。

B) 電源スイッチをONにしても動かない場合



その他



◆必ず電源プラグを抜いて、電源スイッチをOFFにしてから以下の処置を行ってください。

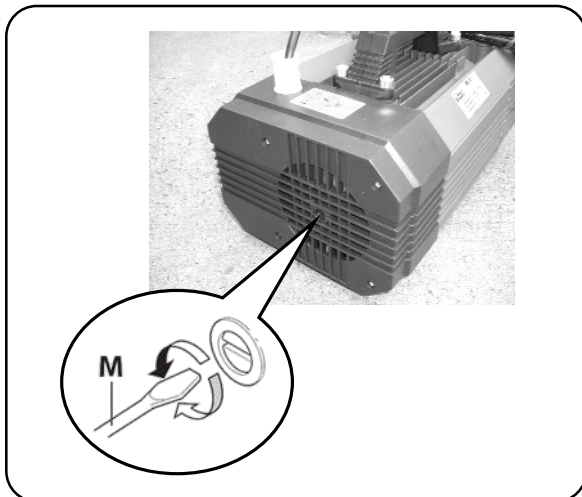
☆誤って電源が入った場合危険です。

◆操作後はマイナスドライバーを抜いてから電源に電源プラグを差し込み電源スイッチをONにしてください。

☆マイナスドライバーを差し込んだまま電源スイッチをONにするとマイナスドライバーが飛び出し、けがをする恐れがあります。

- ①電源スイッチをONにしても動かない場合は、直ちに電源スイッチをOFFにして電源プラグを電源から抜いてください。
- ②マイナスドライバーをモータ軸に差し込み、図のように3～4回転モータを手で回してください。
- ③マイナスドライバーを取り外し、電源スイッチをONにしてください。
長期保管後の始動の際は、繰り返し必要な場合もあります。

②



2-2) 洗浄作業



- ◆人や動物に噴射口を絶対に向けないでください。
☆けがをする恐れがあります。



保護具

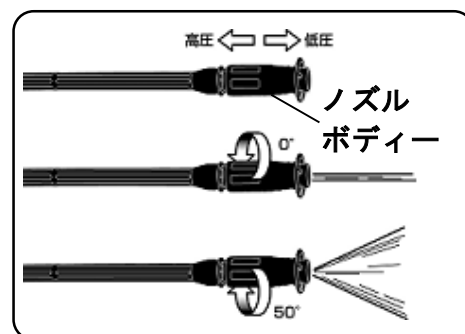


- ◆ゴーグルなどの保護メガネを着用してください。
☆噴射水が、砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。
- ◆高圧噴射を行う際は、噴射水の反動に注意してください。
☆しっかりとガンを持しないとトリガーガンが急に跳ね上がります。
- ◆洗浄前に対象物の変形、破損、移動がないことを確認してください。
- ◆絶対にひも・針金などでトリガーを引いた状態のまま固定しないでください。
☆不意にスイッチが入ったとき危険です。
- ◆運転作業中以外は、トリガーのストッパーレバーを使用し、不意にトリガーが引かれることのないようにしてください。
☆転倒などした場合に誤って噴射されることを防ぎます。
- ◆ノズル先端をのぞき込まないでください。
☆不意の噴射で失明する恐れがあります。
- ◆本機はアンローダバルブによってトリガーを放しても、ポンプに負担のかからない状態になりますが、1分以上使用しない場合は電源スイッチをOFFにしてください。
☆ポンプの寿命を縮めるだけでなく、不意にトリガーが引かれると危険です。
- ◆噴射後電源を切ってもホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。
☆残圧が残っていると機械が始動しません。

感電



- ①バリアブルランスのノズルボディー（黒いプラスチック部分）を、手前に引くと高圧噴射に、前方に押し出すと低圧噴射になります。通常の洗浄作業は高圧噴射で、洗剤を混入する場合は低圧噴射で行ってください。
- ②ノズルボディーを左右に回すことで噴射角度が0°～50°まで無段階に調整が可能です。
- ③トリガーガンをしっかり固定し、トリガーを引いた状態で電源スイッチをONにします。
- ④噴射水が安定するまでしばらく放水します。同時に各接続箇所から水漏れが発生していないか確認してください。
- ⑤ノズルを目標物に向け、トリガーを引いて洗浄します。
- ⑥トリガーを放すと噴射が止まります。



高圧洗浄機 8.5/60

2-3) 洗剤（薬品）の自動混入方法



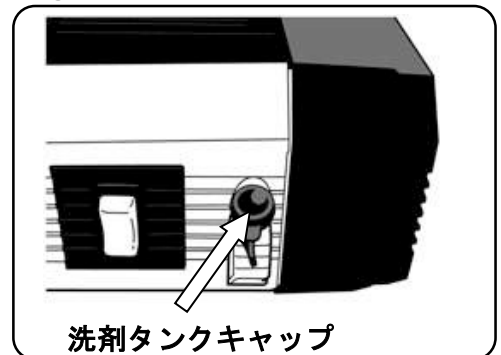
猛毒



- ◆洗剤混入は、低圧時のみ可能です。
- ◆薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナー等の有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤のほか劇物・毒物等は絶対に使用しないでください。思わぬ事故を招く原因となります。特殊な薬剤（薬品）などを使用される場合には、必ずお買い上げの販売店および弊社営業所に問い合わせのうえ安全を確認してから使用してください。

- ①洗剤タンクのキャップを外し、洗剤（薬品）を入れてください。（約600cc）
- ②ノズルボディを前方に押し低圧噴射状態にします。
※高圧噴射状態では、混入しません。
- ③洗剤混入つまみを開く（左へ回す）と、洗剤（薬品）が混入されます。
- ④混入量は洗剤の種類により異なりますので、洗剤混入つまみで加減してください。
※洗剤混入が可能なホース長さは最大で8mです。使用環境や部品の消耗により、ホースの最大長さが変わることがあります。

①



2-4) 圧力調整方法

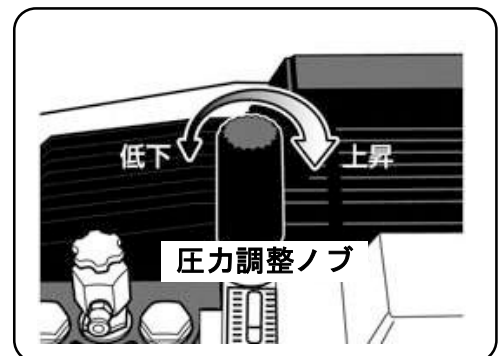


その他



- ◆圧力の調整は必ず所定の範囲で行うようにしてください。圧力の上げ過ぎや下げ過ぎは、故障の原因となります。

- 圧力調整ノブを左に回すと圧力が低下し、右に回すと圧力は上昇します。
- 出荷時は最高圧力に設定されていますので、それ以上に上げないでください。上げ過ぎますと、始動しない、電源ブレーキが作動するなどの症状が起き、本機を損傷する恐れがあります。



2-5) 洗管ホースの使用法

注意

その他



- ◆洗管ホースを引き戻すとき、エルボなどの継手類に引っかかる場合があります。
この場合に無理に引っ張ると先端のノズルなどが外れることがありますので、慎重に引き戻し、引っかった場合は、再度前進後退を繰り返してください。
- ◆洗管ホースは、それぞれの機種（能力）により噴射口の穴径などが異なりますので、本取扱説明書 別販売品の欄およびカタログなどを参考に適した洗管ホースを選定してください。
☆能力の異なる洗管ホースを使用されると、適正な能力が発揮できないほか機械が損傷する恐れがあります。

高圧洗浄機 8.5/60 で別販売品の洗管ホースを使用する場合

- ①高圧ホースを外し、洗管ホースを接続します。
- ②洗管ホースの先端を洗浄対象パイプの中に1 m程度挿入します。
- ③洗管ホースをしっかりと保持して、電源スイッチをONにします。
- ④洗管作業を開始します。

高圧洗浄機 8.5/60P で洗管ホースを使用する場合

- ①トリガーガンからバリアブルランスを外します。
- ②トリガーガンにクイックカブラを接続します。
- ③クイックカブラに洗管ホースを接続します。
- ④洗管ホースの先端を洗浄対象パイプの中に1 m程度挿入します。
- ⑤トリガーガンと洗管ホースをしっかりと保持して、電源スイッチをONにします。
- ⑥トリガーガンのトリガーを引くと洗管作業を開始します。

- ★洗管ホースは噴射圧によって自ら進んでいきますが、時々引き戻して前進後退を繰り返すことによって、洗浄効果がより高くなります。
- ★別販売品にて、さまざまな種類の洗管ホースが準備できます。カタログに掲載されていない物は販売店または弊社営業所まで連絡をお願いします。

3. 作業の終了方法

1) 作業の終了および水抜き方法

□次回の始動を容易にするため、また、冬季にポンプの凍結を防止するために、必ず作業後は水抜き作業を行ってください。

注意

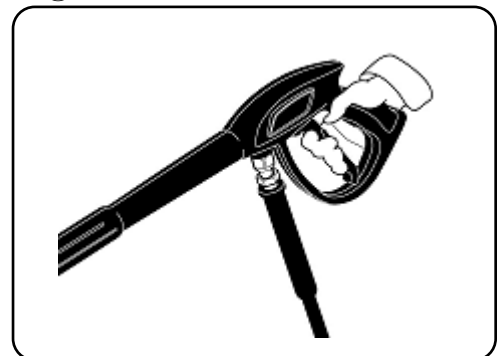
その他



- ◆室内などの乾燥した場所に保管してください。
☆湿度の高い場所での保管は故障の原因となります。
- ◆軒下など雨が降ったり、湿気のある場所には保管しないでください。
☆本機に水がかかると、故障の原因となります。
- ◆子供の手が届いたり簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
- ◆冬季など凍結が予想される場合は、0℃以上の場所に置いてください。
☆ポンプが凍結すると故障の原因となります。
☆やむを得ず0℃以下の場所に保管する場合は、ポンプ内に不凍液を吸入させるようにしてください。
- ◆空運転は、30秒以内としてください。
☆長時間空運転するとポンプが故障する恐れがあります。

- ①トリガーガンのトリガーを放して噴射を止め、本機の電源スイッチをOFFにします。
- ②吸水ホースを水源からあげて、トリガーガンのトリガーを引き高圧ホース内の残圧を抜きます。
- ③高圧ホースからトリガーガンを外し、トリガーガン内の水を抜きます。
先端部を上に向けると容易に水が抜けます。
- ④電源スイッチをONにして30秒間空運転をし、高圧ホースから水がでなくなるまで運転させます。水がでなくなりましたら電源スイッチをOFFにします。
- ⑤吸水ホースを本体から外し、ホース内の水を抜きます。
- ⑥電源から電源プラグを抜きます。
- ⑦外部を布で拭き、湿気・ほこりを防げる場所に保管してください。

③



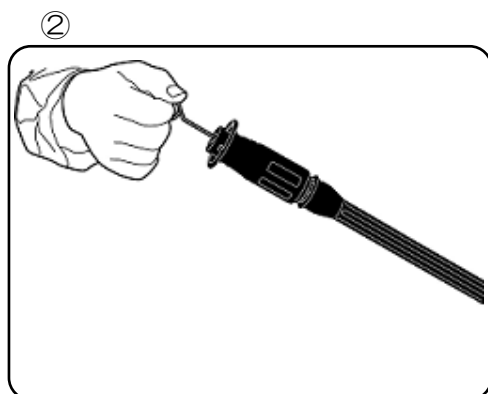
4. 保守点検

1) ストレーナ点検作業

- 本体吸水口の中にあるストレーナを点検・清掃してください。
 - ★ 全く吸水しない、断続的に吸水している、高圧ホースが異常に振動する、圧力が既定値まで上昇しない、圧力が安定しないなどの症状は、ストレーナの目詰まりが予想されます。
 - ★ 金網が破損していたり目詰まりが取れない場合は、新しいストレーナと交換してください。
- 長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合には、必ず使用前にストレーナを点検・清掃してください。

2) ノズルの清掃作業

- 全く水が噴射されない、水の噴射が少ない、圧力が異常に高いまたは低い、真っ直ぐ噴射されないなどの症状は、ノズルの詰まりが予想されます。
- ノズルは消耗品です。他の部品に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられますので、交換してください。交換頻度は、使用時間、水道水のミネラル類の含有量によって異なりますが、およそ圧力が既定値の85%以下になった場合は、交換が必要です。
- ① トリガーガンからバリアブルランスを取り外します。
- ② ノズル穴に付属のノズル掃除棒などを差し込んで、回しながら詰まっている異物を取り除いてください。
- ③ バリアブルランス先端部から水などを流して、完全に異物を取り除きます。
- ④ 再度トリガーガンとバリアブルランスを組み付け異常がないことを確認してください。
- ⑤ 上記の作業を行っても不具合が解消されない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所まで連絡をお願いします。



3) その他の点検作業

- 高圧ホースの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。
- 高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれていますリングやバックアップリングに損傷がないことを確認してください。
- 電源コードや電源プラグの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。

4) ポンプオイルの点検・交換



その他



- ◆作業終了直後は、ポンプが高温になっています。ポンプやポンプオイルには直接触れないでください。
☆やけどをする恐れがあります。
- ◆オイル交換後は、適量を入れて確実にオイルキャップを締め、漏れがないようにしてください。
☆オイルゲージ付きキャップの空気抜き穴からの少量の油漏れは異常ではありません。
☆オイルが適正でないとポンプが破損します。

ポンプオイルの交換時期

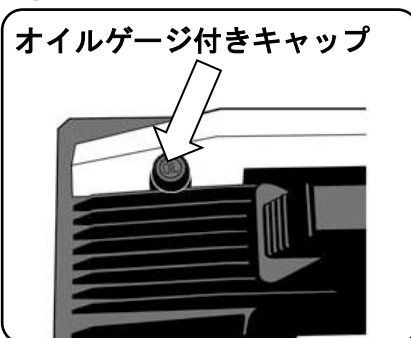
ポンプオイルの交換時期	1回目	運転50時間後
	2回目以降	運転200時間毎
オイルの種類	4サイクルエンジンオイル SAE-10W30 またはSAE30番のいずれかのグレード	

□ポンプオイルは出荷時に給油しています。

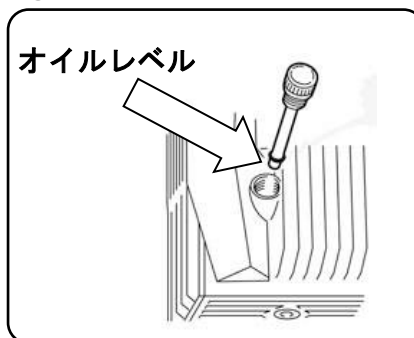
□交換作業は洗浄作業完了後、ポンプ（ポンプオイル）が暖かいうちに行ってください。そうすることによって、ポンプオイルの排出が早くできます。

- ①オイルゲージ付きキャップを外し、オイルの色を確認します。白濁、変色が見られる場合には、交換時期に達していない場合でもポンプオイルを交換してください。
- ②オイルゲージ部分に付着したオイルを布などでふき取ります。注油口にオイルゲージ付きキャップを差し込み、再度取り出しオイルの量を確認します。オイルゲージのオイルレベル位置が適量です。
- ③オイルレベルより下にオイルが付着している場合は、ポンプオイルが不足していますので新しいオイルを補充してください。オイルレベルより上にオイルが付着している場合は、ポンプオイルが過充填されていますので、ポンプ下のドレンよりオイルを排出してください。

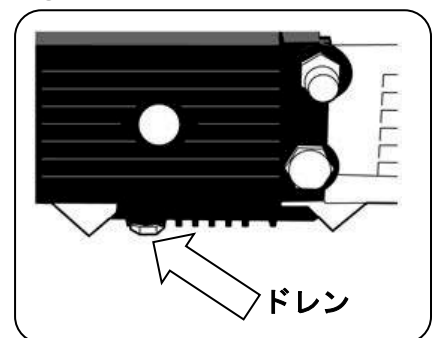
①



②



③



5. 修理・サービスを依頼される前に

1) モーターが動かない（音がしない）

- 電気は100Vきていますか。
- ブレーカーが切れていませんか。
- 電源プラグが接触不良をおこしていませんか。
- コードは断線していませんか。

2) モーターが動かない（音はする）

- 昇圧器などを使用したために電源電圧は低くなっていませんか。
- 細い延長コードを使用して電圧降下をおこしていませんか。
- 長期間の保管のためにパッキンとプランジャが固着していませんか。
- 高圧ホースの中に残圧をかけたまま始動していませんか。
- エア抜きバルブを閉じたまま始動していませんか。

3) 水を吸わない

- ポンプと水面の高さが2m以内ですか。
- ストレーナに詰まりはありませんか。
- 吸水ホースが損傷していませんか。
- 吸水ホースの本体接続側ネジ部に付属されています、Oリングが損傷していませんか。
- エア抜きバルブは開いていますか。

4) 圧力が上がらない

- 圧力切り替え部が低圧側になっていませんか。
- エア抜きバルブは閉じていますか。
- ストレーナに詰まりはありませんか。
- 各接続部から水漏れはありませんか。
- 各接続部のOリングに傷がありませんか。

5) 圧力が不安定、ホースが振動する

- エア抜きバルブは閉じていますか。
- ストレーナに詰まりがありませんか。
- 吸水ホース・高圧ホースが損傷していませんか。
- 各接続部から水漏れはありませんか。
- 各接続部のOリングが損傷していませんか。
- 水源の温度は40℃以下ですか。

6) 水が出ない

- 水源は確保されていますか。
- ストレーナが水面から上がっていませんか。
- ノズルが詰まっていませんか。

MEMO

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号:

購入年月日: 年 月

お買い求めの販売店:

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
 広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾浅田股份有限公司 (台北)
アサダ・アロンコ マンナリー社 (カラルンプール)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)

アサダ・インド社 (ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダ USA (カリフォルニア)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マンナリー社 (バンコク)